

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	マンセラ郡において、教育環境整備を通じ基礎教育を強化する
(2) 事業内容	<p>事業は予定通り進捗している。</p> <p>(イ) 学校の再建</p> <p>事業開始前に入札により選定した4つの建設業者と9月16日に正式に契約を交わし、7校(Dungla 公立女子小学校、Narbeer 公立男子小学校、Malyar Banda 公立男子小学校、Nika Pani 公立男子小学校、Junglan 公立女子中学校、Bhusa 公立男子小学校、Khachi Khaki 女子小学校)の建設を進めている。各コミュニティと建設業者を含めたミーティングを開催し、地域からの協力確約を書面にて確認した後、土壌検査を実施し、建設を開始した。</p> <p>建設の進捗と技術面での質、建設仕様の確認のため、当プロジェクトのエンジニアが日々現場に出かけ、モニタリングを実施している。モニタリング結果に関しては、2週間に1度、東京本部まで報告書を提出している。</p> <p>建設業者や建物の大きさにより、多少のばらつきはあるが、すべての学校で、建設は計画通りに進捗しており、現時点で建設の50%が完了している。</p> <p>各校の進捗は以下の通り：</p> <p>* <u>Dungla 公立女子小学校/ Narbeer 公立男子小学校/Malyar Banda 公立男子校/NikaPani 公立男子小学校</u> レンガによる建物壁の建設、窓・ドア枠の設置が終了した。現在、鉄筋柱へのコンクリートの流し込みを実施している。</p> <p>*<u>Junglan 公立女子小学校</u> レンガによる建物壁の建設の70%が終了し、並行して擁壁のための土地の掘削を実施している。</p> <p>*<u>Bhusa 公立男子校</u> レンガによる建物壁の建設が終了。窓・ドア枠の設置を実施している。</p> <p>*<u>Khachi Khaki 女子小学校</u> ここが一番規模の小さい建物となっているため、他と比べ進捗が早い。現在はレンガによる建物壁の建設、窓・ドア枠の設置が終了し、床にコンクリートを注入し、乾燥過程にある。</p> <p>【その他】</p> <p><u>鉄筋強度テスト</u> 10月に、使用する鉄筋の強度検査の為、サンプルを政府指定機関送り、強度は問題ないとの承認を得た。</p> <p><u>Junglan 公立女子小学校へのアクセス</u> 10月上旬に Junglan 公立女子小学校に至る道が、土砂崩れにより閉鎖さ</p>

	<p>れ、資材の運搬が2週間にわたって閉ざされたが、現在は復旧している。地域住民からのボランティア増員を経て、この間の遅れはすでに取り戻されている。</p> <p><u>教育局によるモニタリング</u> 11月3日にマンセラ郡教育局及びマンセラ郡 Communication and Works局（建設仕様の承認機関）によるモニタリングを受け入れた。特に問題は指摘されなかった。</p> <p>（イ） 教師及び保護者・父兄を対象としたセミナーの開催、生徒会の組織化 事業の後半に実施予定。</p> <p>（ハ） ニュースレター発行を通じた地域の情報共有・ネットワーク強化 マンセラ郡教育環境整備事業（1～3期）で再建した学校のある地域や現在再建をしている地域住民にインタビューし、ニュースレター第1号を発行し（ニュースレター別添）、計47部を配布した。 配布先と各配布数は以下の通り。 ・マンセラ郡教育環境整備事業（1～3期）の再建校（14校）：各1部 ・現在再建校（7校）：各1部 ・上記21校のPTC(日本のPTAに同じ)：各1部 ・マンセラ郡教育局：4部 ・ハイバルパフトゥーンハー州政府：1部</p>
<p>（3） 達成された効果</p>	<p>期待される効果として、（イ）校舎再建を通じた基礎教育の提供 （ロ）公的教育制度における教育環境の整備（ハ）教師及び地域社会における意識啓発と能力向上及びネットワーク強化を掲げている。</p> <p>（イ）（ロ）に関しては、未だ学校建設の途中であること、研修事業はプロジェクト期間の後半に実施予定であることから、成果を図る段階には至っていないが、建設は予定通りに進捗している。</p> <p>（ハ）に関しては、第1号のニュースレターを実施し、上記記載の通り地域に配布し、情報の共有を行った。今後、この第1号ニュースレターを受けての住民の反応を第2号ニュースレターに掲載する等を通じ、地域間のコミュニケーションを促進する予定となっているため、現段階での効果は測定していない。</p>
<p>（4） 今後の見通し</p>	<p>今後も建設を進め、2月中に学校の再建を終了し、その後各学校の教師、PTCメンバー、生徒会に対しての研修事業に移る予定。ニュースレターに関しても残り4カ月で第2号・第3号を発行し、地域間のコミュニケーションを促進してゆく予定。</p>